

古河電気工業(株) アナリスト・機関投資家向け説明会 (Web) 質疑応答録 (要旨)

日時：2021年3月4日(木) 14:00-15:00

内容：古河電工グループビジョン2030達成に向けたESGに関する取組み

説明者：取締役兼執行役員常務 総務・CSR本部長 宮本 聡

Q：環境対応については、リスクと機会(リターン)の両面があると思うが、どちらが大きいかなど定量的なイメージは持っているか？

A：収益機会としては、ラムネ触媒によるLPG創出技術、その他CO₂固定化技術、既に事業化しているアルミワイヤーハースや産業用レーザ、再生可能エネルギー関連事業などがあり、環境対応のコストをオフセットしていきたい。リスクと機会の全体バランスについては、TCFDのシナリオ分析を進めていく。

Q：CO₂削減のための具体的施策は？

A：①太陽光発電設備の設置 ②再生可能エネルギーによる電力購入への切替え ③CO₂固定に係る自社技術の活用等の対応を図るが、これらで十分でない場合は再エネ電力証書(グリーン電力証書)の購入などの検討も必要になる。

Q：(広い事業領域でビジネスを行っているなか)事業の絞り込みを行っている一方で、社会課題解決に向けた複数の新事業創出に取り組んでいるとのことだが、資本効率改善と相反する面もあると思うがどう考えているか？

A：我々は資本効率を規律として第一に意識しており、新事業に取り組む場合もこの視点が大前提である。次期25中計においては、従来以上に資本効率を意識した経営を行っていくべく検討中である。

Q：安全に対する考え方や管理指標はあるのか？災害度数が他社との比較で高いように見えるが。

A：グループの全拠点において、自然災害を含めたリスクアセスメント体制を強化している。また、安全面では、労働災害等に関する目標数値を管理している。安全は全ての基本という考え方のもと経営陣も強い意識を持ち、発生した場合の原因究明等を徹底し、役員会議での報告も行っている。

Q：事業の内容を鑑みると、環境対応におけるリスクはそう大きくないという印象を持っている。リスクより収益機会のほうが大きく、深刻なリスクはないのでは？

A：CO₂削減等の環境対応が不十分な場合、サプライチェーンから排除されかねないという危機意識を持っており、環境ビジョン2050策定など積極的に対応している。電力を多く使う事業もあり、しっかり対策を講じていく。

Q：従業員の意識改革として「フルカワセブン」活用の紹介があったが、グローバルに日本と海外の文化を共有・融合させるような活動はあるか？

A：「古河電工グループ People Vision」が、当社グループグローバルで組織・人事に関する基本的な考え方を共有するバイブル。個々の人事政策は、本ビジョンに基づき、地域ごとの文化・事情等を鑑み実行している。また、国内・海外従業員の合同研修などの機会も設け、考え方を共有している。

Q：取締役会での議論の内容について、変化や進化していることがあれば教えてほしい。

A：議題の多さや粒度などについて指摘があり、重要案件への絞込み、議題数の大幅な削減を実施してきた。議案の内容や施策の実行スピードが十分かどうかについては引き続き課題認識はあり、今後対応していく。

Q：p38の温室効果ガス排出量の内訳は？また将来に向けた削減はどのように行うのか？

A：電気を多く使用する事業は、電解銅箔や光ファイバなど。対応としては、先ほど述べたとおり、①太陽光発電設備の設置 ②再生可能エネルギーによる電力購入への切替え ③CO2固定に係る自社技術の活用等である。

Q：p33の再生可能エネルギー比率について。グループ全体に対する比率か？古河日光発電による寄与はどのぐらいの比率なのか？

A：2019年度の11.0%はグループ全体に対する比率。古河日光発電の比率は8-9%程度。

Q：古河電工に限らず、環境ビジョン2050チャレンジ目標の「チャレンジゼロ」は、単なるスローガンに見えがち。マイルストーンとしての25年、30年の目標値は開示されているが、温室効果ガス排出量以外にも持つべきKPIはあるはずだが、どう考えているか？

A：次の中期経営計画において非財務指標をKPIとして検討している。

Q：バイポーラ蓄電池について。ターゲットとしている市場や、事業立ち上げに向けた進捗状況は？

A：市場やサプライチェーンなどについて、具体的にお話しできる段階にない。

Q：上場子会社に対する考え方は？

A：経産省のガイドラインも出されており、当社グループの企業価値の最大化、保有することのコストや上場子会社のガバナンス等の観点から踏まえ検討していく。なお、上場子会社においては、独自の報酬委員会の設置、1/3以上の独立性の高い役員選任など、ガバナンス上の問題があるとは考えていない。

以上